

# 大阪府民生委員児童委員大会

## 約1000人が参加

5月15日、「第67回大阪府民生委員児童委員大会」(主催 大阪府、府民児協連、府社協)が、大阪国際交流センターで開催されました。

府民児協連副会長で交野市民児協会長の新庄桂子さんが司会を務め、第1部の式典では、厚生労働大臣特別表彰(9人)、大阪府知事表彰(計622人)、大阪府民児協連子どもさわやか賞(21団体および1人)、大阪府民児協連会長感謝状(71

人)の贈呈が行われ、大会宣言が採択されました。

この後、藤井寺市民児協会長の武本美佐登さんから、地域包括支援センターや医療・介護従事者との連携強化に意識的に取り組むことで、ちょっとした相談が気軽にできる



武本 美佐登さん

関係性ができ、住民が安心して生活できる地域づくりにつながっているという活動事例発表がありました。



長谷川 義史さん

第2部では、「絵本でこどもたちに伝えたいこと」と題して、絵本作家の長谷川義史さんが、スクリーンに大きく映し出した絵本の読み聞かせや、即興で絵を描きながら物語を展開するライブ紙芝居、ウクレレの弾き語りなどを行い、会場を笑顔で包み込みました。

### 第67回大阪府民生委員児童委員大会 大会宣言

- 一、住民一人ひとりの置かれている状況や思いを真摯に受け止め、住民の立場に立った「寄り添う」個別援助活動を推進し、早期に必要な支援につなぎます。
- 一、複雑で困難な生活課題を抱え支援を必要とする人々への見守り 相談支援活動を着実に進め、地域の幅広い関係者とともに住民同士のつながりづくりに取り組み、支え合い、助け合うことができるまちづくりを進めます。
- 一、子育て中の家庭を支えるとともに、子どもを児童虐待や犯罪被害、貧困の連鎖などから守り、子どもが健やかに成長できるよう取り組みます。
- 一、災害時要援護者を地域全体で支えられるよう、安否確認体制の確立や各種団体とのネットワーク構築に取り組みとともに、東日本大震災や相次ぐ災害で被災された人びとや被災地の民生委員 児童委員のために求められるあらゆる支援について全力で取り組みます。
- 一、民生委員 児童委員がその力を発揮できるよう、関係機関との連携のもと、民生委員 児童委員が活動しやすい環境づくりに努めます。

平成27年5月15日 第67回大阪府民生委員児童委員大会

# 福祉おおさか

6月号  
(627号)

社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会 常務理事 井手之上 優  
〒542-0065 大阪市中央区中寺1-1-54 大阪社会福祉指導センター内  
TEL.06-6762-9471 FAX.06-6764-5374  
http://www.osakafusyakyo.or.jp  
定価1部50円 年600円(郵送料別)

### 主要記事

- 2~3面 新たな制度対応や地域貢献委員会の拡充を重点に 他
- 4面 人とロボットが織りなす介護 他
- 5面 「はーと・ほっと相談室」 他
- 6~7面 施設通信 子ども子育て新制度はじまる!! 他

### 39(サンキュー)矢野基金

チャリティーオークション **ヤフオク!** で開催中!!  
(6月21日まで)

## 福祉の就職総合フェア2015 in OSAKA

2日間で福祉関係★★  
約300法人が大集結

- [日時]** 平成27年 7月18日(土)・19日(日) 12時~16時
- [会場]** 大阪府立体育会館 2階 第1競技場  
(地下鉄各線なんば駅5番出口から350m)
- [内容]** ○個別面談コーナー ○法人パンフレットコーナー  
○施設見学・職場体験の受付 ○各種相談コーナー

今のトレンドが分かる

### 同日開催 福祉・介護業界セミナー

- 講師** 株式会社リクルートキャリア  
HELP MAN! JAPANグループ
- 日時** 7月18日(土) 福祉の「未来の可能性」  
7月19日(日) 福祉業界のホント  
10時~12時(要予約)
- 場所** 大阪府立体育会館 1階多目的ホール

**[費用]** 無料  
**[問合せ]** 大阪福祉人材支援センター  
TEL.06-6762-9006(平日9時~17時)  
http://www.osakafusyakyo.or.jp/fcenter/

でも放射線と無縁ではなかったようだ。▼テレビなどで福島の状態をたびたび見聞きする。絶対に安全なはずであった原発が、万に一つの確率で人々の生活を根こそぎ奪う兵器と化してしまつた。▼物事には色々な面があり、一概に善悪を決めつけられないかもしれない。それでも全国の原発再稼働の話を知った時に「失うものの重さで賭けるか否かを決めるべき」というあの一節を思い出す。

(桂)



時々、昔読んだ文の一節を思い出す。「人は賭けをする時、勝つ確率で決めがちであるが、負けた時、何を失うかで決めるべきである」というもの。勝つ確率が低くても、負けて失うものが重大でなければ賭けてもいい。反対に、勝つ確率がどんなに高くても、負けて失うものが大きければ賭けるべきではないという。▼東日本大震災後、一度、東北を訪問する機会があり、福島県の方から除染の話をお聞かせいただいた。原発からは離れた地域だったが、それでも放射線と無縁ではなかった。▼テレビなどで福島の状態をたびたび見聞きする。絶対に安全なはずであった原発が、万に一つの確率で人々の生活を根こそぎ奪う兵器と化してしまつた。▼物事には色々な面があり、一概に善悪を決めつけられないかもしれない。それでも全国の原発再稼働の話を知った時に「失うものの重さで賭けるか否かを決めるべき」というあの一節を思い出す。

